OSM Coverage(PostGIS) の利用方法

1. QGIS のインストール

QGIS をインストールしてください。インストールの方法はネットで調べてね。

ここことか→https://sites.google.com/site/qgisnoiriguchi/start2use　Widows

ここことか→http://qiita.com/w_shon/items/979a97939ba4d2fd5c82　Mac

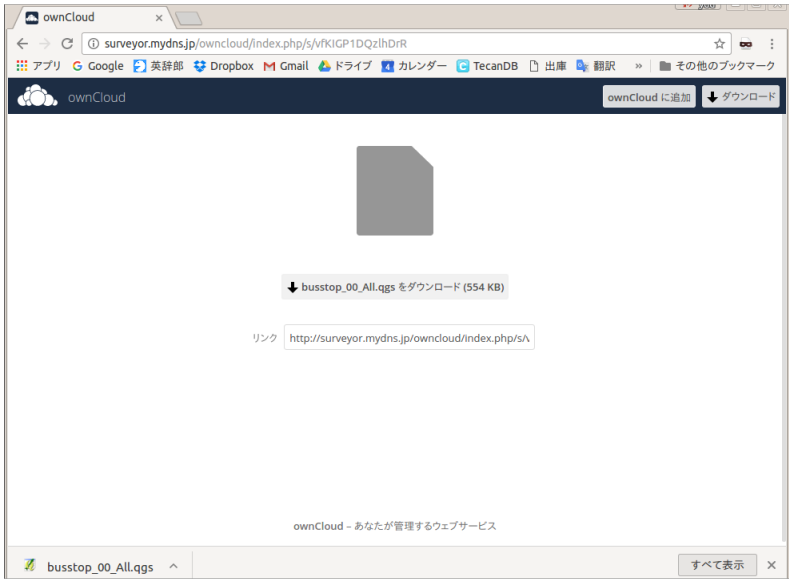
Linux はここを→http://www.mk-mode.com/octopress/2014/07/09/qgis-installation-to-linx-mint/ 見てください。

ここでは Ubuntu 16.04 へのインストールを示します。

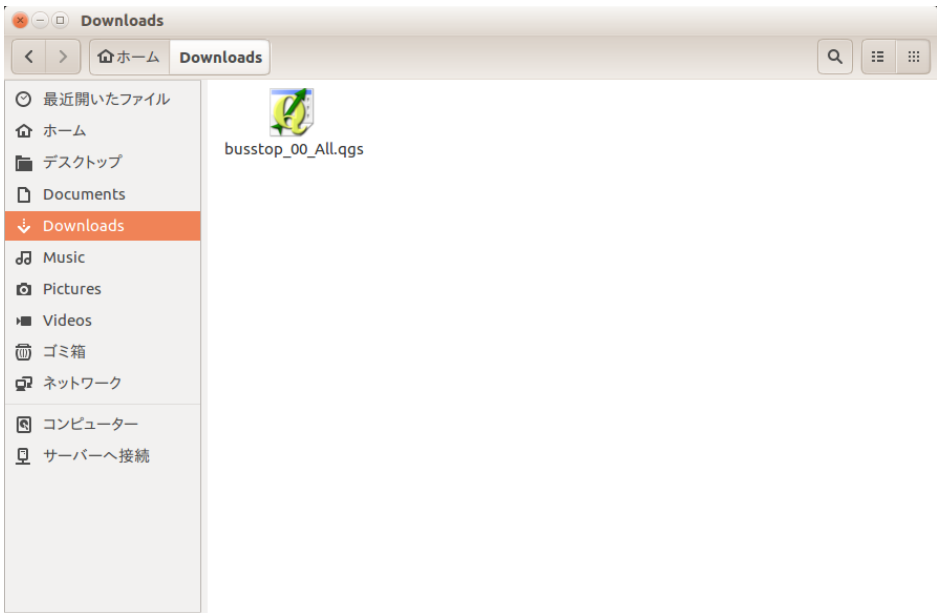
```
$ sudo apt install qgis
```

2. PostGIS へ接続

QGIS を起動する前に こちら[http://surveyor.mydns.jp/owncloud/index.php/s/vfKIGP1DQzlhDrR]から QGS ファイルをダウンロードしてください。

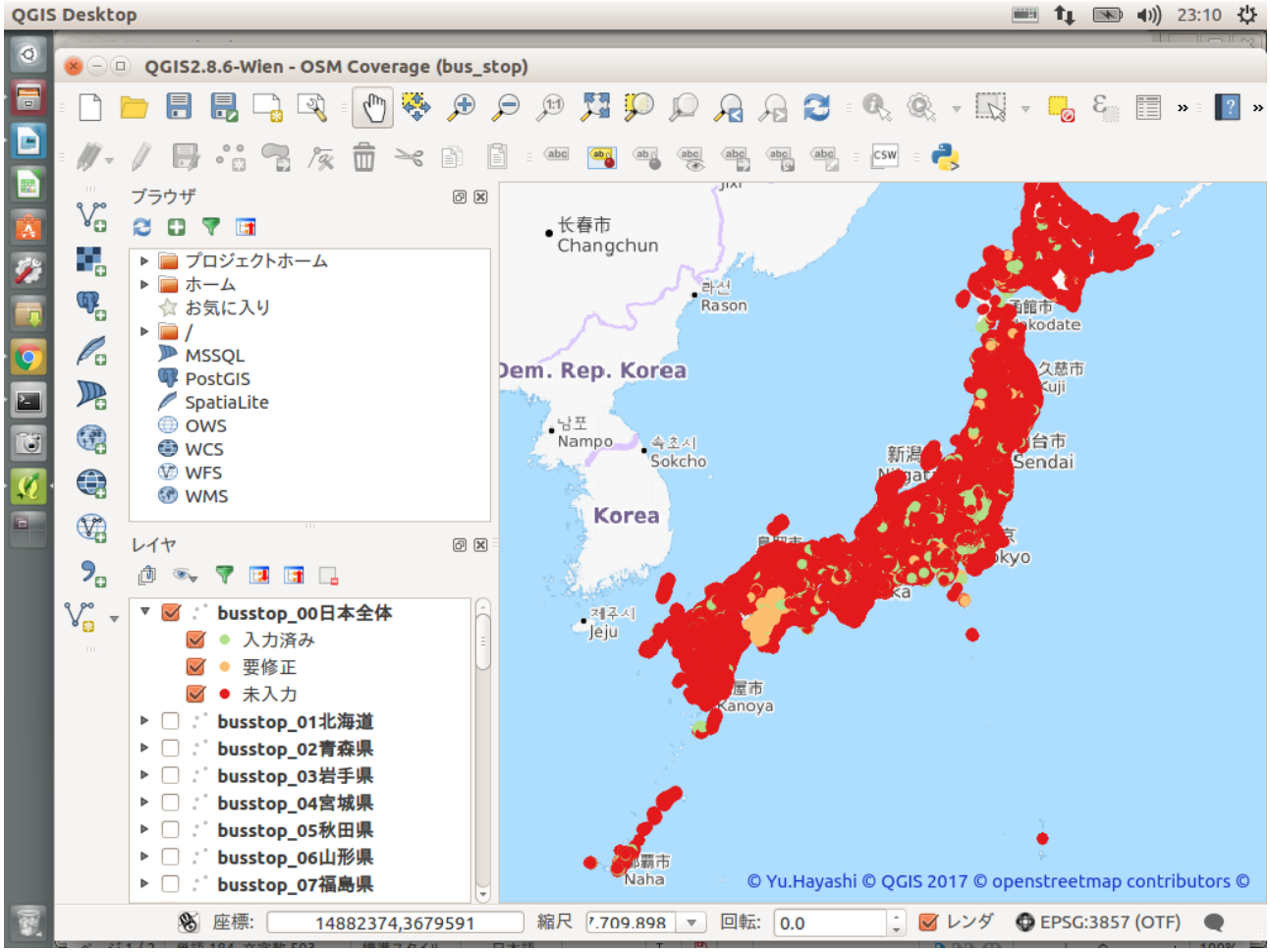


ダウンロードした QGS ファイルを**ダブルクリック**すると、QGIS が起動されます。



起動まで しばらく時間がかかります。

うまく表示されるように祈りながら待ちましょう。

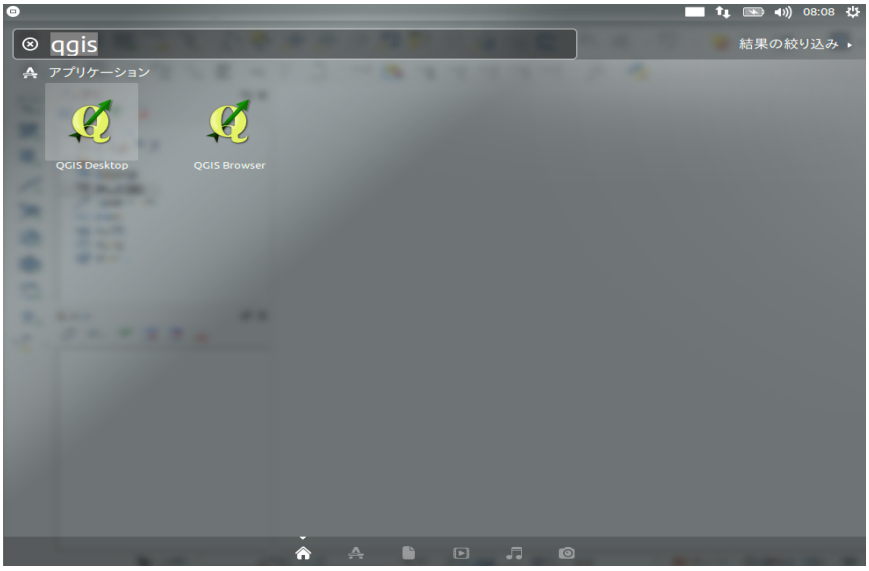


運が良ければ、こんな感じで表示されます。

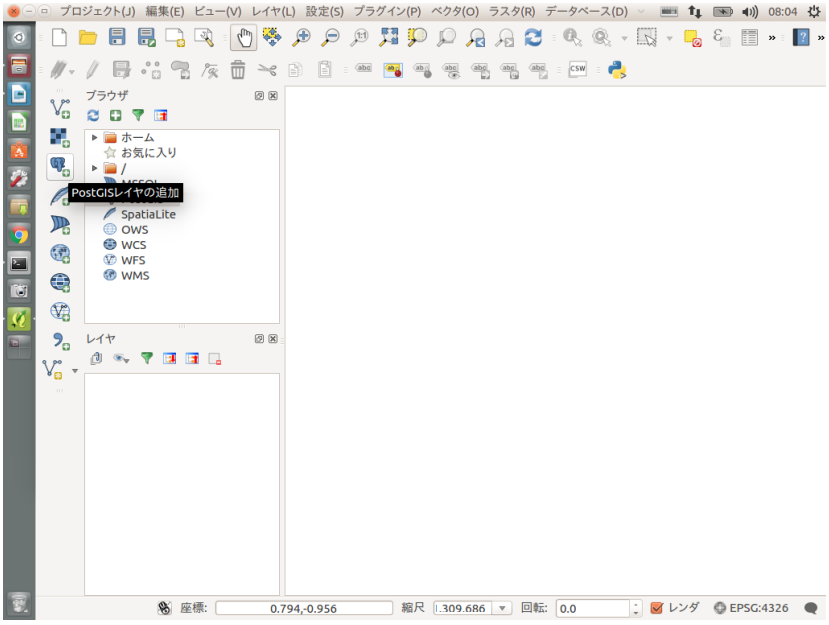
＊ osmCoverage レイヤーの設定方法

うまく表示されない場合は、QGS ファイルに頼らずに手動で設定してみましょう。

1. QGIS desk を起動する。

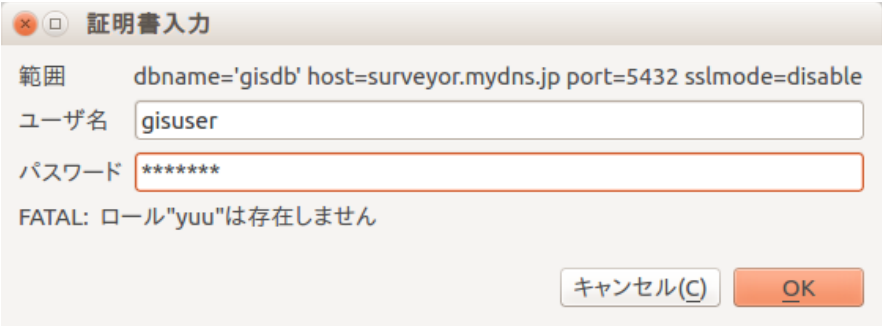


2. PostGIS レイヤーの追加



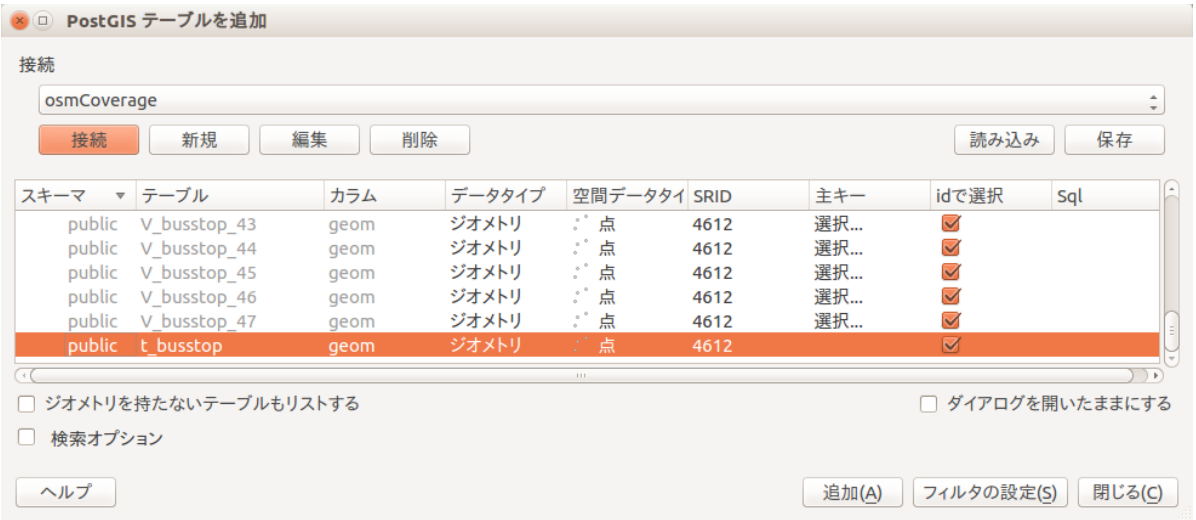
「新規」ボタンをクリック

- 名称:　なんでもいい
- ホスト:　surveyor.mydns.jp
- ポート:　5432
- データベース:　gisdb
- ユーザ名:　gisuser
- パスワード:　gisuser



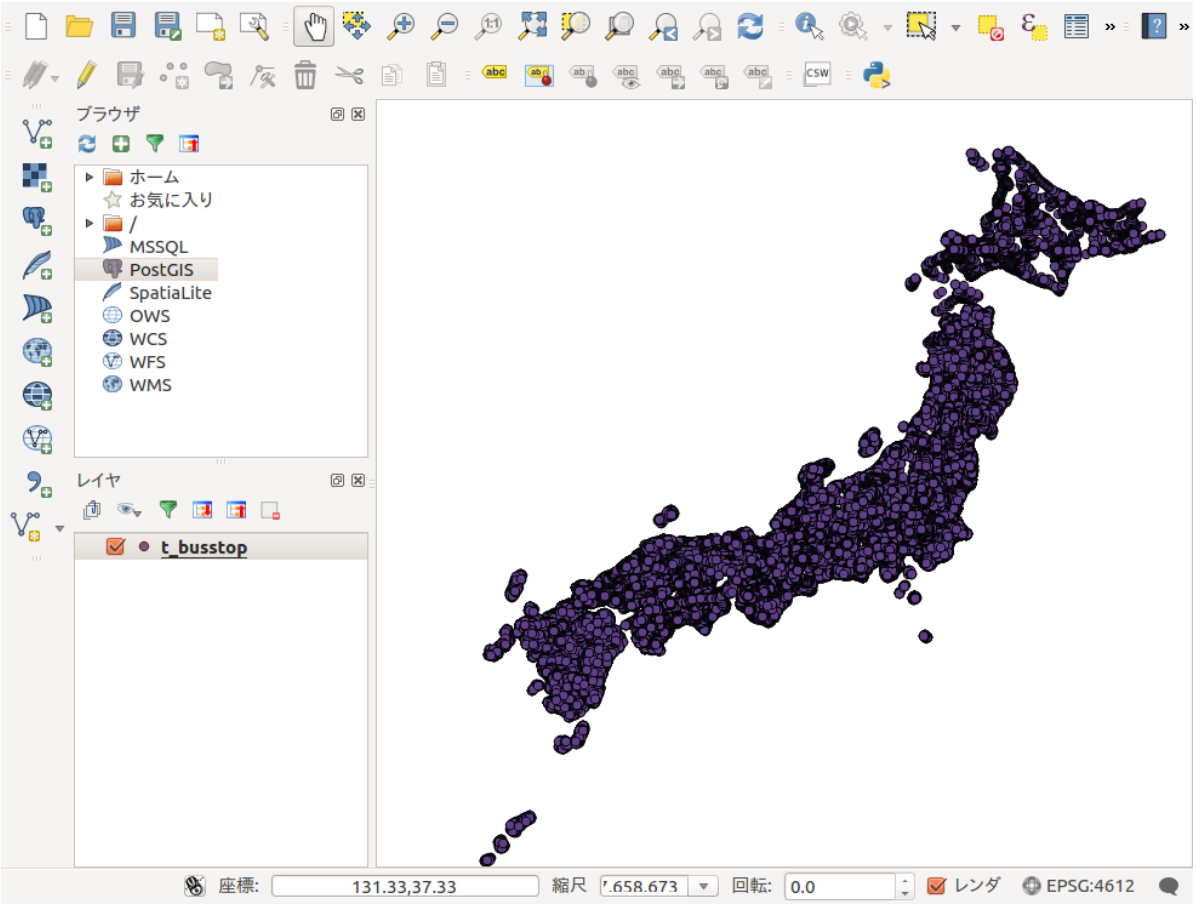
- ユーザ名:　gisuser

  パスワード:　gisuser

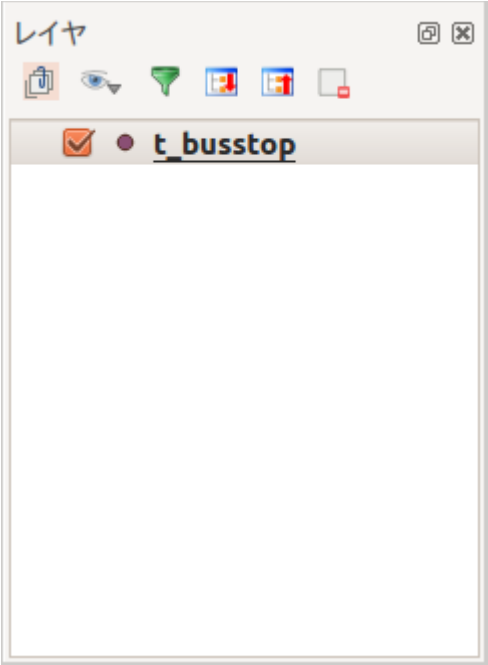


public ツリーを展開して、「t_busstop」を選択してから、

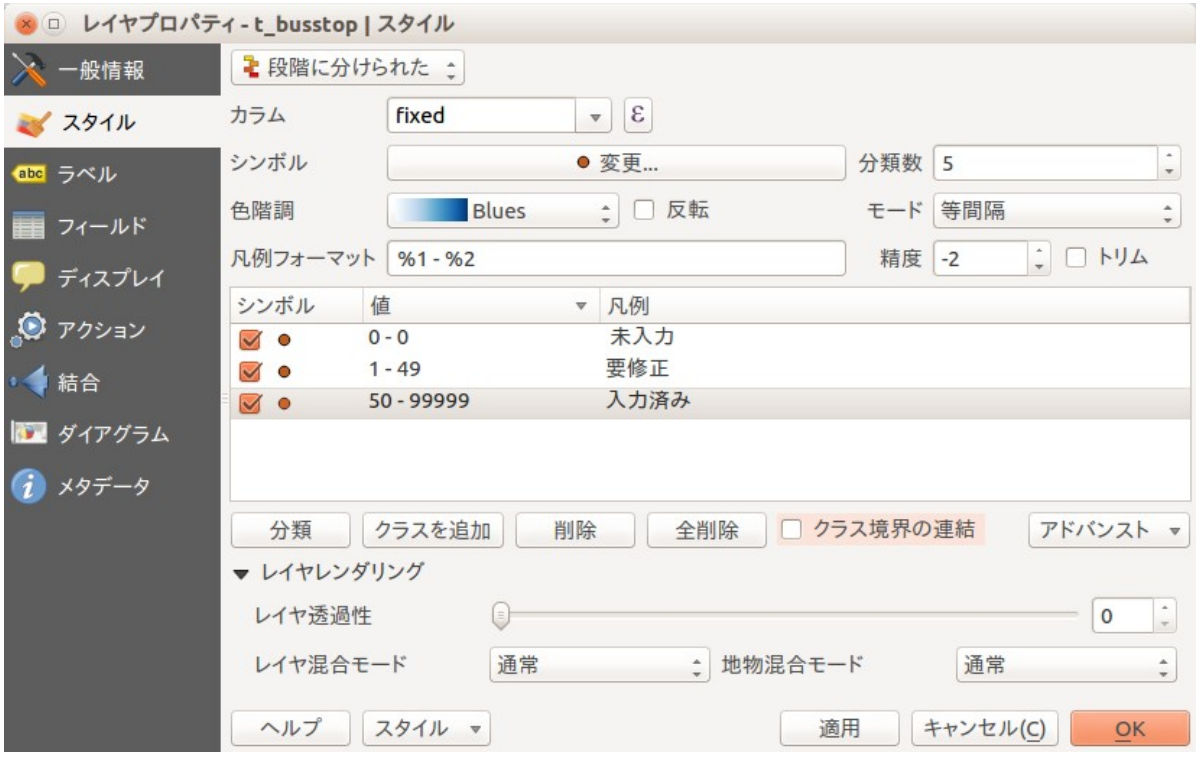
「追加(A)」ボタンをクリック



- 色分け設定

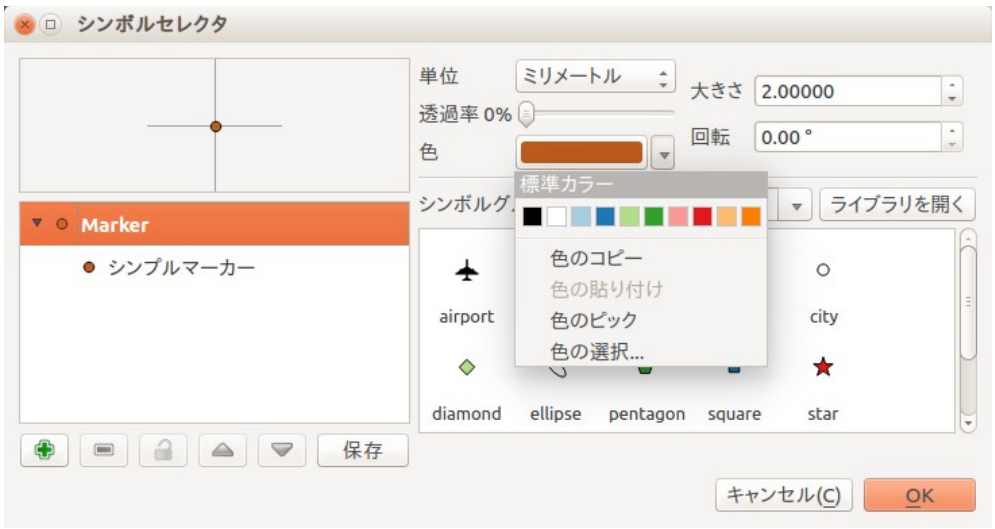


[t_busstop]をダブルクリック。

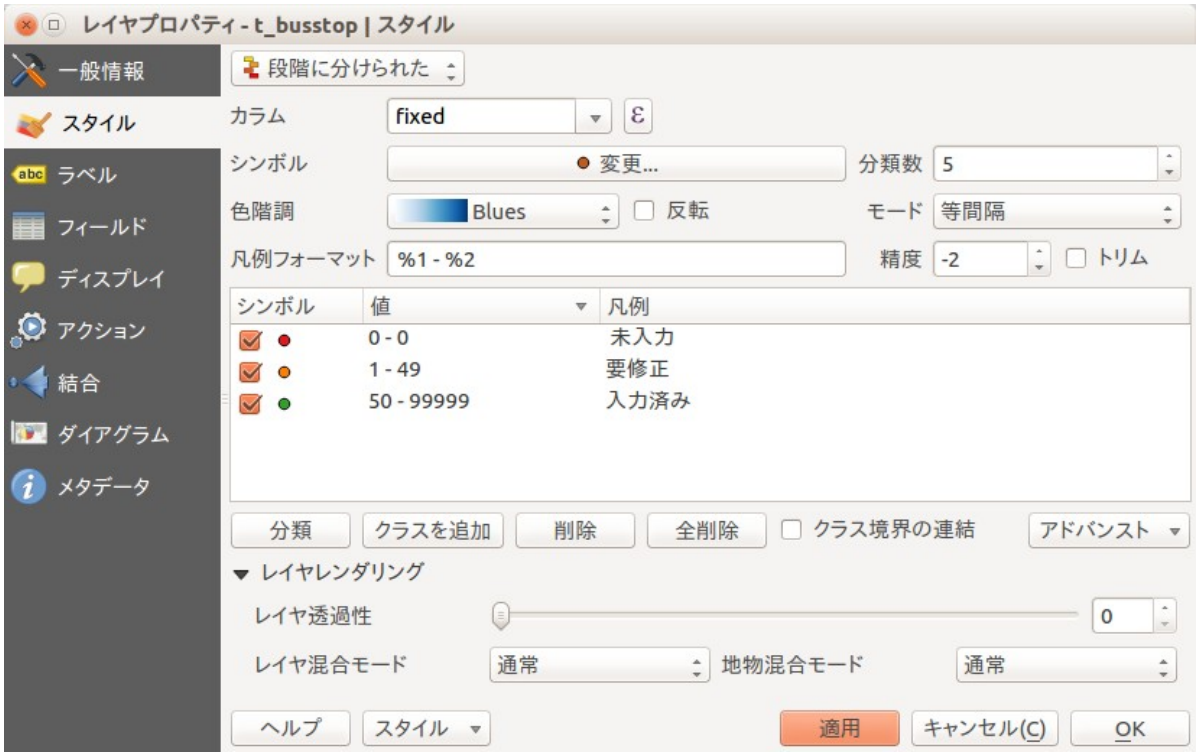


- [スタイル]を選択
  - 「段階にわけられた」を選択
  - カラムに「fixed」を選択
  - 精度を「−2」　（値のところに小数点）
  - 「クラス境界の連結」のチェックを外す
  - 「クラスを追加」ボタンを3回押して三段階のクラスを追加して図のように設定する。

各クラスをダブルクリックして段階ごとのシンボルの色を変えます。



お好きな色に変更してください。

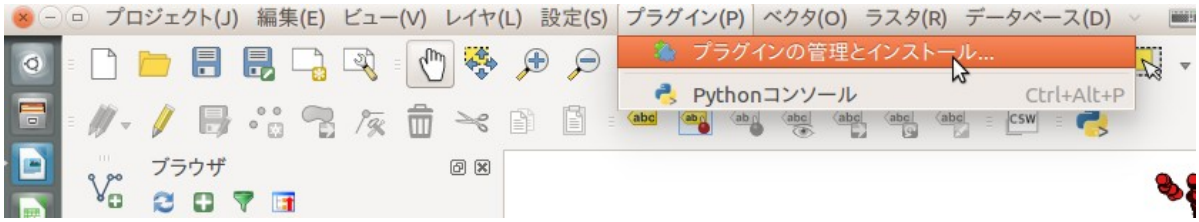


「適用」をクリック

「OK」で閉じる

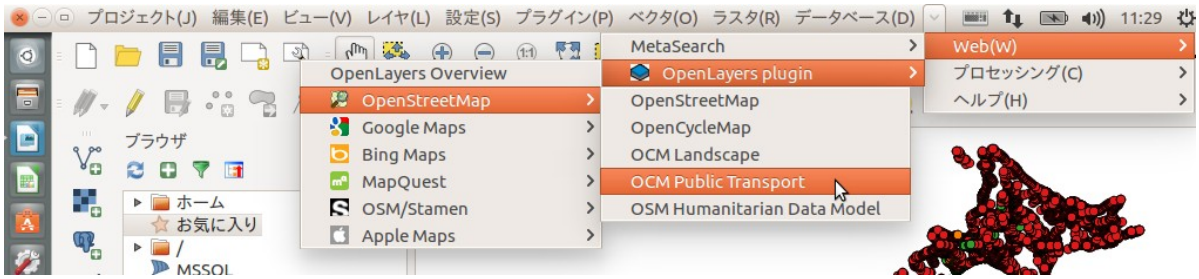
できあがり!!

＊ OSM マップを背景に追加する

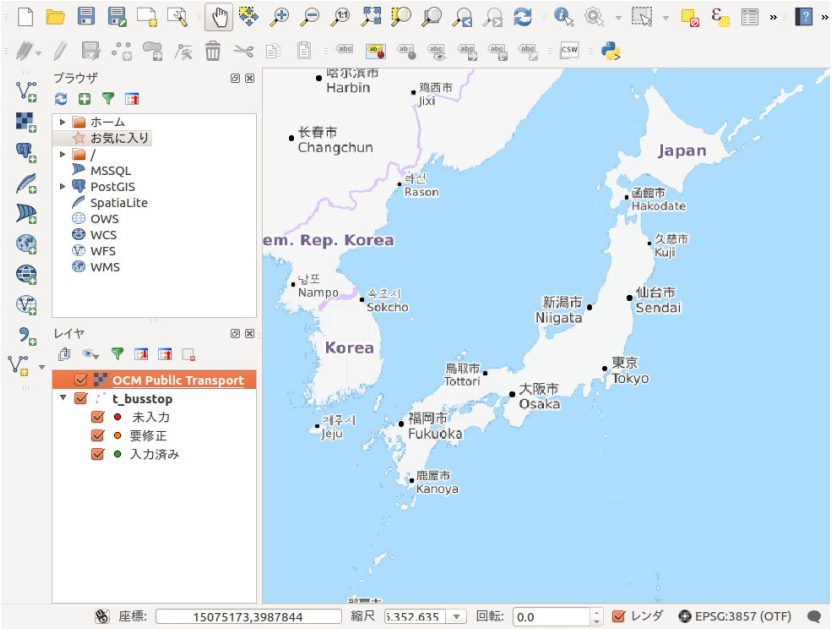


QGIS のメニューから[プラグイン(P)]-→[プラグインの管理とインストール...]を選択

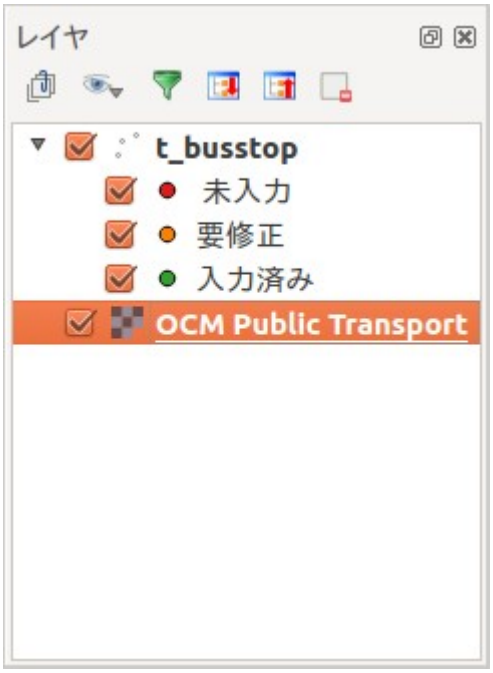
「OpenLayers Plugin」を選択して「プラグインをインストール」をクリック



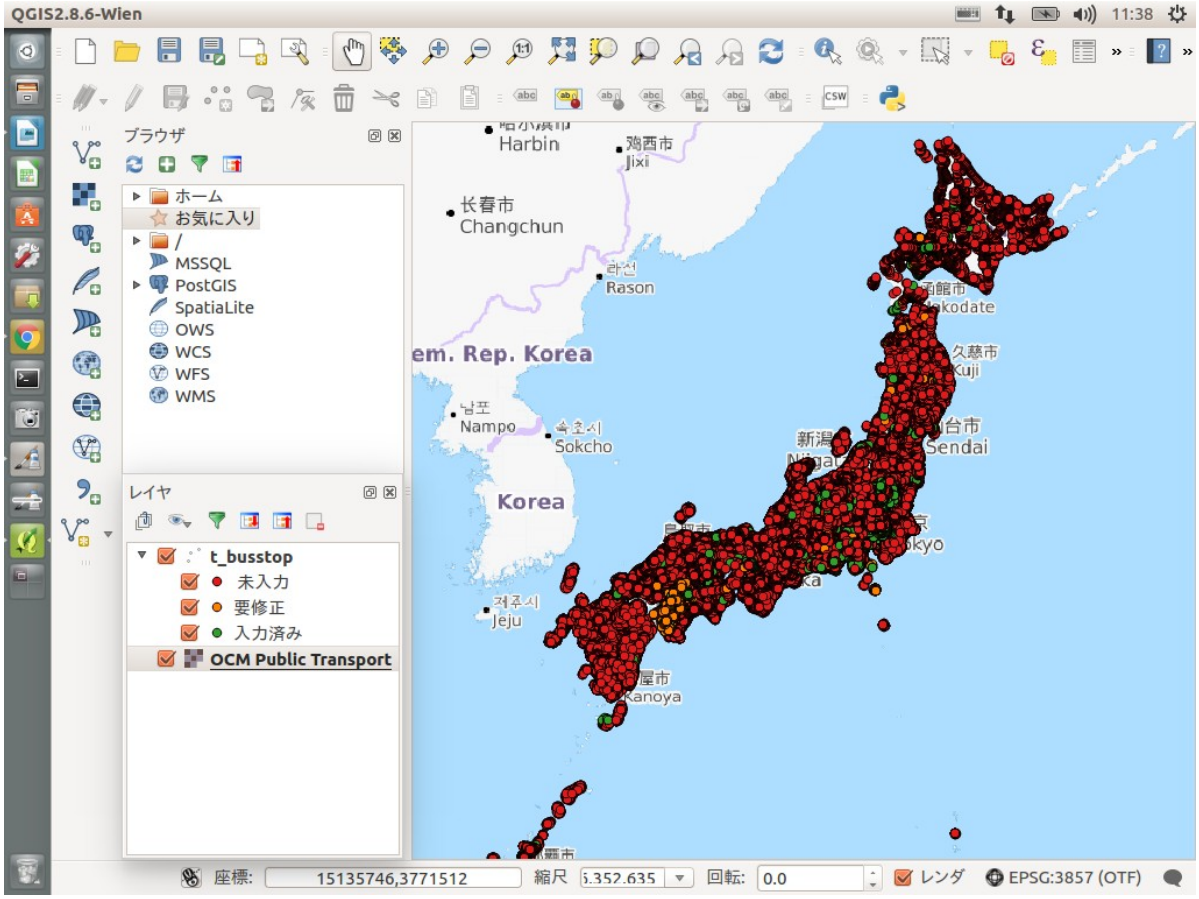
QGIS のメニューから[Web(W)]→[OpenLayers plugin]→[OpenStreetMap]→[OSM Public transport]を選択



OSM 地図が表示されますが、肝心のデータが見えなくなりました。



レイヤパネル内の「 OSM Public transport」を一番下に移動させると


QGIS2.8.6-Wien
11:38
ブラウザ
ホーム
お気に入り
/
MSSQL
PostGIS
SpatiaLite
OWS
WCS
WFS
WMS
レイヤ
t_busstop
未入力
要修正
入力済み
OCM Public Transport
Harbin
鸡西市
Jixi
长春市
Changchun
라선
Rason
em. Rep. Korea
남포
Nampo
Sokcho
Korea
Sendai
Jeju
Kanoya
座標:
15135746,3771512
縮尺
回転:
0.0
レンダ
EPSG:3857 (OTF)

完成です!!!